JAきたみらい

おひさまサラダ

2016

vol.161 6

はいっ ポーズ!

《訓子府地区・実郷》
森岡えり子さんと大翔(はると)くん・凛(りん)ちゃん
（紹介は２ページです）

特集 平成28年度 新規就農者紹介

季節の薫り

水稲の田植え

まだ肌寒い風が吹く５月下旬、きたみらい管内では水稲の移植作業が始まった。ハウス内で大切に育てられた水稲の苗を手際良く積み込み、田植機が軽快に走る。青空が映える水面には、緑色の苗の列が一面に広がっていく。

今年の早い雪解けで作業は順調に進み、今後は除草剤を施用し、落水して田面が露出することがないようにして水管理が行われる。

収穫されたもち米は、おこわ、赤飯などの主食を中心に、おかきなどの米菓に姿を変えて全国の消費者のみなさんに届けられる。

（高田　陽介）

５月25日、上常呂地区・奥瀬和夫さんの水田で撮影。今年度のきたみらい地域のもち米作付面積は約 741㌶、生産量は約3928㌧を計画しています。

もくじ　CONTENTS

特集　平成28年度「新規就農者」紹介　決意と希望を胸に　未来を拓く!!……4
○季節の薫り……2
○表紙紹介……2
「チューして回るほどおとうさんおかあさん大好き」
○地域だより……8
○ほのぼの広場……10
・きたみらいのホープさん
・記念の一枚
・プリティーウーマン
・わが家のアイドル
○ＪＡからのお知らせ……12
○おひさまサラダクッキング……18
「ペンネアラビアータ・アスパラ風味」
「野菜とタイの紙包み焼き」

表紙紹介

チューして回るほどおとうさんおかあさん大好き

恵みの雨がつづき、前日までの雨が嘘のように晴れた6月5日、森岡家を訪ねるとおとうさんの和弘さんと外で遊んでいた大翔くんが元気に駆け寄って迎えてくれました。

普段からあまり人見知りせず、好奇心も旺盛な大翔くん。水たまりに石や草などいろんなものを落としてみたり、飛んでいる蝶が気になるようでしたが、取材中はニコニコしながら、いろんなポーズをしてくれました。普段はドラえもんのビデオを観たり、ニンニンジャーごっこをするのが好きで、おとうさんおかあさんが仕事の間はおじいちゃんの道雄さんと遊んでいます。

昨年からこども園に通い始めた大翔くんですが、まだまだ甘えたいお年頃。撮影の合間におとうさんとおかあさんのほっぺにチューして回る姿に、おとうさんもおかあさんも大好きなのがとてもよく伝わりました。

昨年12月に生まれたばかりの凛ちゃんは、取材中一度も泣くことなく終始ご機嫌。普段から夜泣きもせず、おかあさんが仕事でかまってあげられないときも、一人で寝てくれるほどのお利口さんです。

そんな大翔くんと凛ちゃんにおとうさんは「とにかく健康第一で元気に育ってほしい」と優しい目を向けながら話してくれました。

（丸山　恵理）

【ご家族紹介】
左から～おじいちゃんの道雄さん(65)、大翔くん（３）、お父さんの和弘さん(43)、凛ちゃん(５ヶ月)、お母さんのえり子さん(41)、おばあちゃんの直江さん(65)
森岡さんは乳牛150頭を飼育し、デントコーンと牧草を作付する酪農専業農家です。

特集

平成28年度「新規就農者」紹介

決意と希望を胸に 未来を拓く!!

JAきたみらいの各地域に将来を期待される11名の仲間が就農しました。未来を担う新規就農者のみなさんに抱負を語っていただきました。

相内地区・東相内

畑 中 優 太（ゆうた）さん

子どもの頃から親の手伝いで農作業をしており、高校卒業してすぐの就農も考えましたが、社会経験を積むため灯油配送会社に就職。今年に入り、親からの勧めもあり就農しました。

まだまだ農業について分からないことは多いですが、早く仕事を覚えて両親に認めてもらえるよう頑張りたいです。

★優太さんは、稲畑複合経営の利男さんの長男で平成５年３月生まれの23歳です。趣味はバイクとバスケ、最近の癒しは仔犬と遊ぶことです。

相内地区・美園

渡 辺 貴 哉（たかや）さん

幼い頃から機械作業が好きで、トラクターに乗っていました。作業をしていくうちに親に憧れを抱き、大学を卒業後、周囲からの後押しを受けて自ら就農することを決意しました。

今後は収量の向上を目指し、新しい技術をどんどん取り入れていきたいです。また青年部活動でも先輩たちをお手本にして頑張ります。

★貴哉さんは、稲野複合経営の幸夫さんの長男で平成５年12月生まれの22歳です。趣味はゲームや読書で、今後やってみたいことはドライブです。

温根湯地区・昭栄

大 関 涼 雅（りょうが）さん

大学卒業後、金融関係の仕事をしていましたが、頭の片隅にはずっと農業がありました。仕事柄、経営者の方と話す機会も多く、自分もいつか経営者になりたいと思うようになり、農業を営む両親への尊敬の気持ちから、親の背中を追いかけこの度就農しました。

今後はまず仕事を覚え、土台ができたら新しい農業にも挑戦していきたいです。時代とともに考え方や機械など、農業も変化してきているので、昔ながらも大切にしながら、いろいろ取り入れて行けたらと思っています。

★涼雅さんは、畑野複合経営の裕之さんの長男で平成３年３月生まれの25歳です。趣味は友人と旅行に出かけることです。

置戸地区・豊住

斉 藤 秀 明（ひであき）さん

前職をやめてから就職活動を行いつつ農繁期など忙しい時期に実家を手伝っていました。農家の仕事になじみ、行っているうちに自分でもやってみたいと思い、就農しました。

昨年は植え付け時期から収穫時期まで１年を通して行いましたが、トラクター等の機械にトラブルが生じた際の対処等、作業に戸惑うことが多いのを実感しております。

将来は、安定した農業経営が行えるように青年部活動等に積極的に参加し、日々努力していきたいと思います。

★秀明さんは畑野複合経営の秀彦さんの長男で昭和54年11月生まれの36歳です。

温根湯地区・松山

畠 山 峻 邦（としくに）さん

子どもの頃から両親の手伝いをしており、自分が家を継ぐんだなという意識があったため酪農学園大学に進学しました。卒業後は農業以外の仕事も経験してみたいという思いから、鮮魚店などで二年間働き、今年就農しました。

大学で学ぶなかで実家の経営規模、乳量、乳質などは両親の努力があってのものだと改めて感じました。まずは仕事に早く慣れ、作業免許の取得などにも取り組みたいです。そしていつか両親を越えられるくらいに成長できたらと思っています。

★峻邦さんは酪農を営む政博さんの次男で平成３年11月生まれの24歳です。趣味はテレビゲームです。

端野地区・川向

川島拓磨（たくま）さん

高専卒業後、会社員をしていましたが、小さい頃から家の仕事を見ていてやってみたいと思い、親孝行と地元に戻って仕事をしたいという気持ちもあり就農しました。

怪我をしないように気を付け、少しでも良い作物をとれるように頑張りたいです。

★拓磨さんは畑野複合経営の定則さんの長男で昭和61年７月生まれの29歳です。趣味はミニ四駆づくりです。

上常呂地区・上ところ

柳瀬和哉（かずや）さん

子どもの頃から実家の手伝いをしていました。進路は一般企業に就職するか、実家の農業を継ぐかで迷いましたが、親の仕事を継ぎたいと思い、就農を決意しました。

早く仕事を覚えて一生懸命頑張りたいです。

★和哉さんは野菜専業を営む昌弘さんの二男で平成５年11月生まれの22歳です。趣味は体を動かすことで、特技はバドミントンです。

端野地区・二区

山田圭祐（けいすけ）さん

高校卒業後、会社員をしていましたが、両親が農業を楽しそうにしていたのを見ていて、いつしか自分もやってみたいと思うようになり、就農しました。

就農して間もなく、今は親に任せていることも多いので、仕事を早く覚えたいです。

★圭祐さんは稲野複合経営の孝幸さんの長男で、昭和63年９月生まれの27歳です。趣味はドライブです。

北見地区・北陽

白尾和也（かずや）さん

幼いころから農業が好きで、手伝いをしていました。高校卒業後、専門学校で農業を学び、実家を継ぐことを目指して就農しました。

今後の目標は早く仕事を覚えて自分なりの考えを経営に取り入れていきたいです。

★和也さんは畑野複合経営の高幸さんの長男で平成７年11月生まれの20歳です。趣味はテレビ鑑賞やゲームです。

端野地区・一区

寺崎恭平（きょうへい）さん

専門学校に進学し、就職して違う社会をみてから就農するか悩みましたが、早く戻って親元で農業を経験したいと思い、この春に卒業し就農しました。

今後は早く仕事を覚え、親を楽させていきたいです。

★恭平さんは畑野複合経営の博さんの長男で、平成８年１月生まれの20歳です。趣味はゲームです。

端野地区・一区

今村圭一（けいいち）さん

大学卒業後、団体職員をしていましたが、昔から両親が農業をする姿を見ていて、親の代で終わらせたくないと思い就農しました。

仕事の流れを早く覚え、なんでも一人でできるように頑張りたいです。

★圭一さんは畑野複合経営の幸雄さんの長男で昭和63年８月生まれの27歳です。趣味は野球です。写真は５月に１歳の誕生日を迎えた長女の陽愛（ひな）ちゃんと一緒に撮影。

おおひさまサラダ

地域だより

西地域 留辺蘂
一年間の安全を願って
～安全祈願祭と地鎮祭に30人が参列～

農事組合法人瑞穂（太田忠茂代表理事組合長）は５月10日、コントラクター事業の安全祈願祭と、ＴＭＲセンター倉庫兼事務所建設に向けた地鎮祭を行いました。

この安全祈願祭は平成15年から本格的な農作業が始まる前に、毎年行われており今年で14年目になります。

当日は、留辺蘂町花園地区コントラ車庫前に、組合員である生産者の皆さんや関係機関など約30人が集まり、今年一年の安全と豊穣を祈願しました。

引き続き、ＴＭＲセンター倉庫兼事務所建設予定地に移動し地鎮祭を開催。太田代表理事組合長他、関係機関の代表者による鍬入れが行われました。

終了後は、花園牧場にて懇親会が行われ、焼肉を囲みながら農作業事故への注意や、今年度の作物の生育と天候などについて話しながら親睦を深めました。（菊池　光祐）

▲一年の安全を祈る参列者のみなさん

東地域 端野
青空講習会に115戸が参加
～生育経過や防除体系を確認～

きたみらい麦作振興会端野支部（田中勇会長）、端野町甜菜耕作組合（鷲見博樹組合長）は５月27日に現地講習会を開催しました。当日は６地区に分けて行われた講習会に、晴天のもと115戸が参加しました。

まず網走農業改良普及センターの永山毅普及員より秋小麦、春小麦、大麦における生育経過や倒伏防止、病害虫防除を説明。参加者からは除草剤との混用事例について質問が出るなど活発な質疑応答が行われました。

続いて北海道糖業株式会社佐藤基氏より、気象経過と作業進捗、除草剤散布、防除体系を学びました。４月下旬から５月中旬にかけての降雪や強風の全道的な影響について説明され、参加者は熱心に耳を傾けていました。（高田　陽介）

▲晴天のもと、講師の説明に耳を傾ける参加者のみなさん

西地域 留辺蘂
白花豆の播種
～昨年越えの品質めざし～

５月下旬より留辺蘂地区では、白花豆の播種作業が行われ、今年は天候にも恵まれ、例年よりやや早い播種作業となりました。

きたみらい豆類振興会監事を務める荒伸一さんの圃場では、５月22日より播種作業が行われ、トラクターでけん引されるプランターにより１粒１粒手作業で 0.6㌶ に白花豆が播種されました。きたみらい管内全体では約136㌶の作付を予定しています。

荒さんは「これからは適度な雨と温度に期待し、風には注意したい。去年より良い品質のものを収穫できれば」と意気込み、また、「消費者の皆さんにどんどん白花豆を食べてもらえればうれしい」と話してくれました。（菊池　光祐）

▲播種作業を行う荒伸一さん

南地域 置戸
園児らが仔牛の哺乳体験
～青年部置戸支部が食育活動～

ＪＡきたみらい青年部置戸支部畜産部会（片桐敏史会長）は５月27日、認定こども園置戸町こどもセンター「どんぐり」にて園児たちを対象に哺乳体験を行い、部員15人が参加しました。

このイベントは食育活動の一環として毎年行われており、今年で６回目の開催となりました。

園児たちは仔牛の哺乳を行い、仔牛がミルクを飲む姿に「かわいい」と歓声が上がりました。

また、園児たちは牛乳からバターが作られるところを学び、実際に牛乳の入ったペットボトルを振り、出来上がりを見て驚いていました。

片桐畜産部会長は「仔牛とのふれあいにより、酪農を身近に感じていただけたら」と目を細めていました。（神田　貴章）

▲仔牛にミルクをあげる園児たち

きたみらいのホープさん

先輩たちを見習いがんばる

訓子府地区・弥生

柴田　悠（ひさし）さん（24歳）

●趣味は？
野球

●好きな食べ物は？
味噌ラーメン、カツ丼

●理想な女性像は？
優しい方が理想です。

●農業で学び実感したことは？
就農から５年目になりますがまだまだ覚えることがたくさんあります。

●今後の抱負は？
自分より上の世代の方々は農業に対する意識が高いので、先輩方を見習ってがんばります。

悠さんは畑作三品、ゴボウ、にんにくを作付けする豊喜さん、ひとみさんの四男で就農して５年目になります。
（神田　貴章）

プリティウーマン Pretty Woman

若い世代にたすきをつないでいきたい

温根湯地区・大和

下込　絹恵（きぬえ）さん（61歳）

今回は温根湯支部の支部長下込さんに登場いただきました。　（丸山　恵理）

◆ご出身、ご自身の性格は？
生まれも育ちも温根湯です。結婚前は旧温根湯農協に勤めていました。性格はマイペースで、人からは天然とよく言われます。

◆旦那さんは？またどんなご家庭ですか？
主人とは青年団で知り合い、お互いバレーが好きで一緒にやっていくうちに仲を深め、結婚に至りました。今は７人家族でにぎやかに楽しく暮らしています。

◆趣味・楽しみはありますか？
趣味はテレビでのスポーツ観戦。「全日本」と付くとついつい観てしまいます。冬場は酪農女性グループ「みるくVACCA」でチーズづくりをしたり、「白花豆くらぶ」でイベント出店のお手伝いをしたり、他のメンバーから得ることも多く楽しいです（＾＾）

◆今後の組織活動への抱負は？
女性部は駅伝のようにたすきをつないでいくものと思っています。今年新しい部員も入ってくれたので、横の繋がりを大切にし、若い世代にたすきをつないでいきたいです。そして部員みんなが参加しやすい部会にしていきたいです。

わが家のアイドル

なんでもチャレンジ！

北見地区・美里

佐藤　好望（このみ）ちゃん（1歳10ヶ月）

四兄弟の末っ子の好望ちゃんは、おにいちゃんおねえちゃんがやることをまねて、何でも一人でやってみるチャレンジャーです。
おねえちゃんとケンカしても優勢で、その様子を見ているおかあさんは「自分がおねえちゃんと同じ年だと思ってるのかも」と推測しています。さらには、おねえちゃんの靴や上着を用意してあげたり、末っ子ながらも、面倒見の良さが垣間見えます。
もう、おはしも使い始めて、大好きなトマトもパクリ。ピーマンはちょっぴり苦手ですが、いろんなものをおはしで食べてみます。
人見知りもせず、周りに溶け込むのも早い好望ちゃん。おかあさんは「好きなことにチャレンジする気持ちを忘れず大きくなって欲しい」とエールを送っていました。

好望ちゃんは佐藤正人さん、亜希子さん夫妻の三女です。おにいちゃんからおかしをわけてもらって喜ぶ瞬間をパシャリ（石井　睦美）

記念の一枚

▲食べる瞬間に目と目があった貴重な一枚

趣味歴50年！

相内地区・豊田

矢田目　義一（よしかず）さん（73歳）

昔から鳥が好きで、野鳥の会に加入していたこともある矢田目さんは、野鳥の撮影が趣味のひとつ。この写真は2013年に女満別湖で４時間ねばり、カワセミと魚の目と目があった瞬間を撮ることができた１枚。一昨年の「野生生物写真コンテスト」に入選し、今年の北見市のカレンダーの４月ページにも採用され、更に思い出の１枚となりました。
写真はフィルムカメラ時代から数えると趣味歴50年。一眼レフを使うようになってからは10年とかなりのベテラン。撮影には仲間とオホーツク近郊を中心に、多いときには週２回ほど、カメラ片手に出かけることも。
今後の狙いはヤマセミで、「またコンテストにも応募したい。また入選できるよう頑張りたい」と意気込みも話してくれました。

（丸山　恵理）

JAからの お知らせ

INFORMATION

連載 第28回JA北海道大会 パネルディスカッション⑤

「550万人と共に創る『力強い農業』と『豊かな魅力ある農村』」の実現に向けた農業の魅力発信

北海道農業協同組合中央会 副会長 内田 和幸 氏

JA北海道大会で開催したパネルディスカッションでパネリストのみなさんから提言を頂きました「北海道農業とJAグループに期待すること」をシリーズで報告します。

最終回は、JAグループを代表してJA北海道中央会内田副会長からの提言を紹介します。

「力強い農業」、「豊かな魅力ある農村」の実現に向けた組合員の役割

北海道の農業は今まで非常に過酷な条件のなかで、先人たちが長年にわたって築いてきました。食料基地としての大きな役割を担っています。自信と誇りを持って、これからの大きな変化の時代に立ち向かっていかないといけない。農業者一人一人も大きな力でありましたが、そこに協同組合があったからこそ、ここまで発展してくることができました。これからもJAの力を大事にしていかなければなりません。

こういう時こそ農協に結集して、団結力、組織力を発揮しないと、これからの時代は乗り切っていけない。一人よりも十人、十人よりも百人ということで意思の結集を通じながら難局を乗り切っていかなければならない。

大会決議には、農業所得20%増大、新規就農者の倍増、流通改革、生産コストの削減など具体的なことがあるが、いずれも一人ではできません。北海道農業は、それぞれの地域のなかにあって、欠かせない産業。地域を味方につける、より農業の理解者を味方につける。北海道の農産物は安心安全、そしておいしいと言われ、さらに地域貢献をしながらJAの、協同の素晴らしさを外に発信していく必要があります。そういった積み重ねが道民550万人の支持につながっていく。そして、理解者につながり、応援団になっていくと思っています。

JA組織は、今まで色々と組合員の所得確保のために改革を行いながら進んできました。しかし、それ以上に時代の流れは速く、その時代にどうやって適応しながら、臨機応変に柔軟に対応していくか、ということが今後求められます。そのことによってさらに農家組合員の所得、また経営が安定するような近道になればと思っており、あえて言わせて頂きました。

内田（うちだ） 和幸（かずゆき） 氏
北海道農業協同組合中央会 副会長

最後に一言

私たちは、道民・国民に安心安全な食料を供給しているという、大きな役割を担っている。

そのことには自信と誇りをもっていい。北海道のなかで農業をこれ以上衰退させないようにしっかりと取り組みをしていかなければならない。

もっと外に向かって、農業の良さ、食、そしてまた農業に取り組む姿勢を発信していかなければなりません。

そのことが、道民550万人と共に創る力強い北海道農業、豊かで魅力ある農村の実現に必ず結び付く。3年間一緒に頑張りましょう。

第1回きたみらいホルスタインベビーショウ開催

～美しさや力強さなどを競い合う～

当JAは5月7日、訓子府町の北見管内畜産総合施設できたみらいホルスタインベビーショウを開きました。

今までは北見市酪農青年同志会の主催により行われていましたが、今年度より北見市、訓子府町、置戸町の各ホルスタイン同志会の代表が集まり実行委員会となり開催しました。北見市、訓子府町、置戸町から74頭の乳牛が出品。審査員は㈱十勝家畜人工授精所の松浦久美子氏が務めました。

部門は育成クラスと未経産クラスとジュニア&マダムに分かれ体型の美しさや骨格の力強さ、乳房のバランスなど資質を競い合いました。最高位賞は、育成クラス、未経産クラスでそれぞれ北見市の山内誠さんが出品した「DHチヤンス デイー」、「DH オツト サンチヤン」が受賞しました。

会場では部門ごとのジャッジングコンテストもおこなわれ、審査終了後はジンギスカンパーティが開催されるなど大勢の来場者で賑わいました。

▲ジュニア&マダムで牛を引っ張る子どもたち

▲審査員にアピールする出品者のみなさん

今年も新鮮野菜を消費者へ

～北見市かあさんの朝市会 10月2日まで開催～

北見市かあさんの朝市会（戸田富美子会長）は5月29日より同JAセンター事務所特設会場で朝市会を行い、晴天の下、大勢の市民の方が来場しました。

今年で24回目を迎える朝市の開催に先立ち、戸田会長は「消費者のみなさんの支えがあったからこそ今まで続けることができました。今年も新鮮な野菜や花を届けたい」と挨拶しました。当日は会員8人のうち6人が参加。アスパラなどの野菜のほか、野菜苗などを各々の売り場に並べ、来場者にお勧めの調理方法や栽培方法などの対話を交えながら販売。開始から20分ほどで売り切れました。

今年の朝市会は10月2日までの毎週日曜日、午前6時から開かれます。（※品物がなくなり次第終了となります）

▲新鮮野菜や苗について説明する会員のみなさん

▲晴天の下、大勢の市民のみなさんで賑わう

JAからの お知らせ

INFORM ATION

農作業に汗を流す
～新採用職員農家実習～

当ＪＡの新採用職員11人はこのほど、組合員のみなさんの苦労ややりがいを身をもって体験し、今後の業務に生かすことを目的に、理事宅にて「農家実習」を行いました。

実家が農家の職員以外はほぼ農作業は初めて。ふれあい畜産グループに配属された若井楓職員は置戸地区の有馬和幸南地域運営委員長宅で実習を行い「ビートの移植作業は見たことが無かったので、一つひとつの作業の意味も教えてもらい、とても勉強になりました。体をうごかすのが好きなのでこれからも積極的に現場に出向いていきたいです」と話しました。

▲種芋を移動させる若井職員

企画振興グループに配属された菊池光祐職員は相内地区の林政則総務専門委員長宅で実習を行い、玉葱の移植作業を経験し「玉葱の苗を間近で見たことが無かったので、貴重な経験ができました。今後も農家の目線を忘れずに業務に活かしたいです」と振り返りました。

新採用職員は収穫時期にも実習を行い、収穫の喜びも体験する予定です。

▲玉葱の苗を積み込む菊池職員

田植えに笑顔が溢れる
～市内の４小学校で田植え体験～

５月23日に三輪小学校の５年生、25日に東相内小学校の５年生、27日に相内小学校の全校児童、30日に南小学校の５年生が田植えの体験学習を行いました。

これは各小学校で総合学習の一環として行っているもので、北見市役所・網走農業改良普及センター・生産者等関係機関が連携して協力しており、次代を担う子ども達に食料を作る農業の大切さや収穫する喜びを感じてもらうことを目的に行っています。

裸足で田んぼに入った子ども達は苦戦しながらも一生懸命植えていました。曲がった苗を直す子のほか、余った苗を貰っては何回も植付けをする子もおり、子ども達の熱心さが伝わってきました。

秋には各小学校で、収穫したもち米を用いてお餅を作り、食の生産から消費までを学ぶ予定です。

▲ていねいに苗を植える東相内小学校の児童のみなさん

▲元気良く田植えを行う相内小学校の子ども達

新発売！『麦まるごとうどん 平打ち』

麦の香りを味わう「麦香旨（ばかうま）」シリーズの第２弾として「麦まるごとうどん 平打ち」が発売となりました。平成27年４月に発売した「麦まるごとうどん」の姉妹商品で、麺が平打ちとなっており、茹で時間が短くなったことが特徴です。これからの時期冷たい麺やジンギスカンの締めにもぜひお使いください。

▲茹で時間が短くなり、お手軽に食べられます

また、平打ち麺と強いコシを活かして生パスタ風で食べるのもおすすめです。カルボナーラなどソースがよく絡んで美味しくいただけます。北見市内を中心にお取扱いを開始しておりますのでぜひお召し上がりください。

▲カルボナーラやナポリタンなども相性良し！

販売店情報：パラボ、Aコープ、アークスグループ（ビッグハウス、ラルズ、アークス）、イオン北見店、東武イーストモール端野店、セブンイレブンとん田東町店、まちんなかSHOW10

【お問合わせ先】　ＪＡきたみらい 燃料自動車グループ
常呂郡訓子府町駒里44番地2　生産資材拠点センター（ ☎ 0157-47-2099）

まちがいさがし

Bのイラストには、Aのイラストと違う部分が５カ所あります。
間違っている部分を右下のイラストの中の数字でお答え下さい。

A

B

５月号まちがいさがしの当選者

５月号の**まちがいさがし**の答えは「１、２、７、８、10」でした。正解者33名の中から抽選の結果、当選者は次の方々です。　　（　　）内は地区名

・岩橋　椎奈さま（温根湯）・荒　えみ子さま（留辺蘂）
・大橋　　慈さま（相　内）・中山　悦子さま（置　戸）
・水上てる子さま（訓子府）・諸橋由紀子さま（訓子府）
・木島　幸子さま（訓子府）・吉田　秀子さま（上常呂）
・袴田　茉由さま（上常呂）・樫尾　彩香さま（端　野）

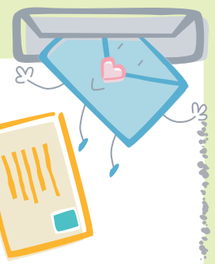
以上の方々には、JAきたみらいの「オニオンコンソメ」「玉葱塩だれ」「玉葱醤油」をセットにしてプレゼントします。

応募方法

答えが解った人は、別紙の応募用紙に答え（番号）と広報誌へのご意見・ご感想を記入してFAXでご応募下さい。

抽選で10名の方に、JAきたみらいの新商品「麦まるごとうどん　平打ち」３袋をプレゼント致します。

VOICE 読者の声



春 植え付け時期の雪、すごい風に負けず、無事終わって良かったで～す。

（相内地区　小野　栄子さん）

毎日大変な作業お疲れ様です！秋にたくさん収穫できると良いですね。

い つもおひさまサラダ読むの楽しみにしています。間違い探しなかなか難しいですね。

（訓子府地区　諸橋　由紀子さん）

毎月、読者の方に楽しく読んでもらえるよう、作成しています。これからも宜しくお願いします。

昔 から怖いものに、地震、雷、火事、親父と言われていました。最近は、風、交通事故、何か変な時代ですね！

（置戸地区　仁木　義信さん）

災害、交通事故など事前に対策しておくことが大切かもしれませんね！

毎 月クッキングは楽しみです。旬の野菜を利用した手軽なところが良いです。我が家の食卓に１品増えました。

（北見地区　戸田　富美子）

おいしく食べられるメニューを紹介していきますので、ぜひ試してみてください！

JAからの お知らせ

INFORM ATION

第４回　理事会報告

５月30日、午前９時より第４回定例理事会が開催され、報告事項19件、議決事項10件が協議され、原案通り承認されました。

【報告事項】
①内部監査（融資部門）報告について
②組合員状況報告について
③財務状況報告について
④熊本地震に係る義援金の取扱について
⑤夏期手当の支給について
⑥北見市に対する平成27年度縁故債の貸付について
⑦反社会的勢力等の取引排除及び組織犯罪等の防止に係る対応状況について
⑧４月15日強風被害について
⑨５月８日暴風被害について
⑩地域運営に係る担当理事の報告について
⑪海外の口蹄疫発生状況について
⑫高齢者相談業務の開始について
⑬政策提言等の組織討議について
⑭平成26年産もち米の本精算について
⑮「生産資材拠点センター感謝フェア」実績報告について
⑯「園芸市」実績報告について
⑰「四季倶楽部」グランドオープン実績報告について
⑱理事に対するクミカン貸越極度額の設定に係る報告について
⑲コンプライアンス事故報告概要について

【議決事項】
①出資減口について
②外部出資金の増口について
③固定資産の取得及び処分について
④玉葱集出荷施設建設に係る系統施行について
⑤地域運営委員の選任と委嘱について
⑥夏期地区別懇談会実施日程（案）について
⑦ＪＡきたみらいサポーターづくり活動基本方針の設定について
⑧ＧＰＳレベラーの施工料金の設定について
⑨Ｈ28肥料事業推進方針について
⑩平成27年度ＪＡきたみらいディスクロジャー誌の発行について

夏期地区別懇談会
～７月11日から各地区で～

平成28年度「夏期地区別懇談会」が次の日程で開催されます。懇談会は組合員みなさんからＪＡへの要望・意見などをお聞かせいただき、明日のＪＡ運営に反映させることを目的として開催されるものです。

農繁期でご多忙とは思いますが一人でも多くの組合員と青年部、女性部、フレミズ、家族みなさんの出席をお願い致します。

○**日程**　７月11日（月）～７月14日（木）
○**時間**　**午前の部**　９：00～12：00
　　午後の部　13：30～16：30

日　程	地区事務所等	
	午　前	午　後
７月11日(月)	端　野 （２階大会議室）	北　見 （２階大会議室）
７月12日(火)	留辺蘂 （２階大会議室）	温根湯 （２階大会議室）
７月13日(水)	置　戸 （町中央公民館）	訓子府 （３階大会議室）
７月14日(木)	相　内 （２階大会議室）	上常呂 （１階大会議室）

廃プラ回収のご案内
～６月21日から各地区で～

日　程	受入場所
６月21日（火）	置戸堆肥センター
６月22日（水）	上常呂広郷倉庫
	温根湯選果施設
６月23日（木）	西相内小麦乾燥貯蔵施設
６月24日（金）	西相内小麦乾燥貯蔵施設
７月６日（水）	端野選果施設
７月７日（木）	端野選果施設
７月８日（金）	訓子府選果施設

※６月23日・24日の西相内小麦乾燥貯蔵施設は全地区の受入が可能です。

本年の廃プラ回収につきまして、次の日程で行われます。受入日時・場所や排出区分など確認の上、持ち込み願います。

なお、未洗浄農薬空容器は再生処理ができないため、洗浄済みのものと比べ約10倍の処理費用が掛かります。空容器、空袋は洗浄して排出をお勧めします。

○**受入区分**
・農ビ類　・農ポリ類
・未洗浄農薬空容器
○**受入時間**
午前：　９：00　～　12：00
午後：　13：00　～　15：30

※注意事項
●農耕用廃タイヤ、ビニールホースの回収は秋に行います。

▲産業廃棄物運搬車の表示が義務化されております

お詫びと訂正

先月発行致しました別冊「役職員紹介」につきまして、誤りがありましたので訂正の上、深くお詫びいたします。

【誤】P11　購買部燃自南エリア　小林英伸職員　置戸給油所
⇒【正】P12（同上）　訓子府給油所

vol.161

発行 きたみらい農業協同組合
〒090-0813 北海道北見市中ノ島町1丁目1番8号
TEL0157-32-8777(代)
責任者／西川孝範
編集者／営農振興部：企画振興グループ

ペンネアラビアータ・アスパラ風味

【エネルギー約485kcal(1食当たり)】

【材料：2人分】
ペンネ……160g
グリーンアスパラガス ……3～4本
トマト水煮缶……1個
ブラックオリーブ……6粒
ニンニク……1片
ＥＶオリーブ油……大さじ2
赤唐辛子……1本
塩 ……適量

【作り方】
①ニンニクは芯を除き粗みじん切り、赤唐辛子は種を除き細切り、グリーンアスパラガスは根元の堅い部分の皮をむき3～4等分にする。種なしのブラックオリーブを輪切りにする。
②フライパンにトマトを手でつぶしながら入れ、ニンニク、赤唐辛子、ＥＶオリーブ油大さじ1を加え中火で煮る。グツグツし始めたらオリーブを加えて弱火で煮る。甘味が出てきたら、塩少々とグリーンアスパラガスを加え火が通ったらソースは完成。煮詰まり過ぎた場合は、ペンネのゆで汁を加える。
③②と同時に、たっぷりのお湯に塩を入れ表記の時間でペンネをゆでる。
④ゆで上がったペンネを②に入れて手早くソースとあえ、ＥＶオリーブ油大さじ1を絡めて火を止め、熱々をいただく。

メ モ

アラビアータとは、トマトソースに赤唐辛子の辛味を利かせたソースで、語源は「怒りん坊」とか。トマトの酸味と唐辛子の辛味がおいしさの秘訣なので、あまり火を通さず12～13分で出来上がるのもうれしいパスタ。アスパラガスの色と香りもお楽しみください。

おひさまサラダ COOKING
♥おいしいもの大好き!♥

野菜とタイの紙包み焼き

【エネルギー約276kcal(1食当たり)】

【材料：2人分】
タイの切り身……2切れ
ケーパー……小さじ1
アサリ……6粒
レモン……1/2個
セロリ……1/2本
白ワイン……大さじ4
ピーマン……2個
ＥＶオリーブ油…大さじ2
エリンギ……1本
塩・こしょう……適量
ミニトマト……6個

【作り方】
①タイは塩、ワイン少々を振っておく。アサリは砂出し後、よく洗っておく。
②セロリは筋を除き、大きめのざく切り。ピーマンは縦4等分。エリンギは薄切り。ミニトマトは半分に切る。
③30㎝×40㎝のオーブンペーパーの中央より手前にタイを置き、その上に②の野菜とアサリを載せる。
④塩、こしょう、ケーパー、白ワイン大さじ2、ＥＶオリーブ油大さじ1を加える。
⑤ペーパーを向こうから手前に折り、2枚を合わせて数度しっかりと折り、左右も折り込みながら密封する。
⑥オーブンを220度に温め、⑤を入れ10～12分ほど焼く。
⑦器に載せてペーパーを開き、レモンを搾っていただく。

メ モ

オーブンペーパーでうま味や香りを閉じ込め、開けた瞬間に広がる香りも絶品な一皿です。中は密封されるのでお魚はふんわり軟らかに仕上がります。鍋いらずで後片付けも楽ちんなクイック料理。おいしいスープもパンなどに付けて忘れずにお召し上がりください。

編集後記

・今月号の特集では新規就農者のみなさんを紹介しています。お話を伺ったみなさんから農業に掛ける思いが聞けて、頼もしい限りでした。職員としても頑張らなければと思った次第です。
・6月に入ってまとまった雨が降り、これからの生育に期待するところです。肌寒さを感じた5月も過ぎ、夏が近づくにつれて気温が上がっていきます。水分補給と体調管理に十分お気をつけください。 (高田 陽介)

JAきたみらい概要

(平成28年5月20日現在)

・組合員数(正) 1,753人
・組合員数(准) 6,035人
・組合員戸数(正) 1,104戸
・貯金 103,109百万円
・貸出金 17,141百万円
・出資金 5,012百万円